

アブダクション研究会の皆様  
顧問の皆様  
会友の皆様

2019・1・1

アブダクション研究会  
代表・世話人 福永 征夫

## 2019年・新年のご挨拶とお知らせ

◇皆様、新年明けましておめでとうございます。  
わたくしの年賀状をお届けいたします。

### ■ 新年を慶賀しご健勝をお祈りします ■

まず広域学の基盤の確立をめざして1984年に創案を発意し1990年から発表を続けて2017年に完成した『自然の循環と融合のモデル』を英文・和文併記の著作にしてワールドワイドに理解を深めていただきたいと念願しています。

次にこの循環と融合のモデルをベースに自然・生命・社会の系の機能とそれらの進化のストーリーを探究して今後の世界にとって糧となる知見を集積していきたいと願っています。

またこのモデルをベースにし研究会の会合に「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐる一般の社会人と対話し触発し合う実践的な育成のテーマを取り入れることを計画しています。

ときどきホームページをご覧くださいますと幸甚に存じます。

2019年 元旦

福 永 征 夫

◆アブダクション研究会（1996年設立）

代表・世話人

◆ホームページ：<http://abductionri.jimdo.com/>

〒610-0357 京都府京田辺市山手東1丁目28-4

アブダクション研究会・2019年の開催計画とスケジュールについて

◆2019年におけるアブダクション研究会の開催について、現在も関係先との調整と打ち合わせを進めていますが、その方向性について、下記のように成案を得ましたので、アブダクション研究会の皆様・顧問の皆様・会友の皆様にお知らせをいたします。

(1) 「遺伝子編集」「ヒッグス粒子」「情報理論」という自然に関する最新の「高深度・広域・高次の知識」に挑戦する「輪読研究」が始まります。

■これらのテーマについて深く研鑽し、考察をする、解説発表者の決定が円滑に運びますよう、2ヶ月前からの募集に積極果敢にご応募いただきますよう、お願いをいたします。

(2) 現在、関係先と調整を進めていますが、2019年からは、これまでに積み上げてきた成果を踏まえながら、会員中心の研究会という枠を超え、「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐって、一般の社会人と対話をするという実践的なテーマを取り入れることにいたします。

■具体的には、2019年の1月、5月、9月の各アブダクション研究会に、3331 アーツ千代田のご協力を得ながら、募集し決定した、1～2名の社会人を招き、「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐり対話を試みることによって、社会との間に有意義なコミュニケーションの場を設けて行きたいと考えています。

◆以上について、アブダクション研究会の皆様・顧問の皆様・会友の皆様には、主体的で積極的なコミットメント、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## ■2019年の開催計画について■

(1) 第124回アブダクション研究会=2019・1・26

発表と司会： アブダクション研究会世話人 福永 征夫

テーマ：『持続可能性を確保する高深度・広域的で高次の知識と行動を  
考える（3）』

---「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐる  
社会人との対話を交えて---

(2) 第125回アブダクション研究会=2019・3・30

輪読研究の発表者： 2019年1月に募集して決定する。

テーマ：『「CRISPR（クリスパー）----究極の遺伝子編集技術の発見」ジェニファ  
ー・ダウドナ／サミュエル・スターンバーグ著=櫻井祐子訳・須田桃子解説／2017・文  
藝春秋=を輪読研究して「遺伝子編集技術とは何か」を考える』

(3) 第126回アブダクション研究会=2019・5・18 または 5・25

発表と司会： アブダクション研究会世話人 福永 征夫

テーマ：『持続可能性を確保する高深度・広域的で高次の知識と行動を  
考える（4）』

---「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐる  
社会人との対話を交えて---

(4) 第127回アブダクション研究会=2019・7・20

輪読研究の発表者： 2018年5月に募集して決定する。

テーマ： 『「量子物理学の発見----ヒッグス粒子の先までの物語」レオン・レーダーマン/クリストファー・ヒル著=青木薫訳/2016・文藝春秋=を輪読研究して「ヒッグス粒子とは何か」を考える』

(5) 第128回アブダクション研究会=2019・9・28

発表と司会： アブダクション研究会世話人 福永 征夫

テーマ： 『持続可能性を確保する高深度・広域的で高次の知識と行動を考える（5）』

---「持続可能な環境・生活・仕事・能力」をめぐる  
社会人との対話を交えて---

(6) 第129回アブダクション研究会=2019・11・16

輪読研究の発表者： 2019年9月に募集して決定する。

テーマ： 『「量子が変える情報の宇宙----Information：The New Language of Science」ハンス・クリスチャン・フォン=バイヤー著=水谷淳訳/2006・日経BP社=を輪読研究して「情報理論とは何か」を考える』

---

◇以上です。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。